

令和6年度 目黒区立障害福祉施設
指定管理者運営評価結果について

令和7年7月

健康福祉部障害施策推進課

目 次

1 目黒区心身障害者センター	P 1
2 目黒区立かみよん工房	P11
3 目黒区立大橋えのき園	P15
4 目黒区立下目黒福祉工房	P19
5 目黒区東が丘障害福祉施設	P23
6 目黒区立目黒本町福祉工房	P29
7 目黒区立のぞみ寮	P37
健康福祉部指定管理者運営評価委員会(別表)	P41

1 目黒区心身障害者センター指定管理者運営評価結果について

目黒区心身障害者センター指定管理者の令和6年度運営評価結果を報告する。

1 施設名

目黒区心身障害者センター（目黒区八雲一丁目1番8号）

2 指定管理者

社会福祉法人目黒区社会福祉事業団（目黒区上目黒二丁目19番15号）

代表者 理事長 鈴木 勝

3 指定期間及び運営評価の対象期間

指定期間 平成31年4月1日から令和11年3月31日まで（10年間）

評価対象期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

4 運営評価の方法

「目黒区健康福祉部指定管理者運営評価委員会設置要綱」に基づき設置された健康福祉部指定管理者運営評価委員会（別表）において、指定管理者から提出された事業報告書、福祉サービス第三者評価の結果、利用者アンケートの結果、指定管理者の自己評価等をあらかじめ定めた基準に基づき評価を行った。

5 事業報告書の概要

別紙「事業報告書（概要）」のとおり

6 施設運営に係る区の歳入・歳出決算額の推移

（単位：円）

項 目	4年度	5年度	6年度	備考
歳 出	299,217,837	322,066,631	326,438,223	指定管理料
	12,315,775	10,797,827	9,456,688	本部補助金
合 計	311,533,612	332,864,458	335,894,911	

7 総合評価基準

評価結果	説明
100点～80点	十分水準を超えている
79点～70点	必要な水準を超えている
69点～60点	必要な水準に達している
59点～50点	水準に達していない
49点以下	水準をかなり下回っている

8 指定管理者の自己評価結果（100点満点換算点）

（1）生活介護

自己評価	66点：必要な水準に達している
------	-----------------

（2）短期入所

自己評価	62点：必要な水準に達している
------	-----------------

（3）特定相談支援

自己評価	61点：必要な水準に達している
------	-----------------

（4）地域活動支援センター（機能訓練、デイサービス、入浴）

自己評価	65点：必要な水準に達している
------	-----------------

（5）身体障害者福祉センターB型（配食・その他）

自己評価	62点：必要な水準に達している
------	-----------------

9 総合（評価委員会）評価結果（100点満点換算点）

（1）生活介護

総合評価	68点：必要な水準に達している
------	-----------------

（2）短期入所

総合評価	64点：必要な水準に達している
------	-----------------

（3）特定相談支援

総合評価	64点：必要な水準に達している
------	-----------------

（4）地域活動支援センター（機能訓練、デイサービス、入浴）

総合評価	67点：必要な水準に達している
------	-----------------

（5）身体障害者福祉センターB型（配食・その他）

総合評価	63点：必要な水準に達している
------	-----------------

10 評価結果内訳及び所見

（1）生活介護

評価項目		配点	総合評価
Ⅰ経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	18
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	17
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱサービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	21
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	16
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	16
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	19
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	20
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	17
Ⅲ管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	16
合計		325	220
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		68点	

所 見	【評価できる点について】 ○令和6年度は、医療的ケアを要する利用者の宿泊体験が数年ぶりに再開された。家族との調整を重ねて利用可能な宿泊先を探し、宿泊が難しい利用者についても1日目の日中活動に日帰りで参加できるようにする等の配慮がなされている。 ○全てのバス乗務員に対して施設看護師による医療的ケアに関する講習を行い、送迎サービスが安全かつ円滑に実施されるよう努めている。 ○令和6年度から、利用者の日々の水分摂取や排尿のタイミング等について時間帯ごとに記録・分析を開始し、行動を予測することで適切な支援を行えるようにした。さらに得られた情報を家族に提供し、在宅生活への支援も行った点が評価できる。 【更なる向上を求める点について】 ○引き続き利用者の特性に配慮した幅広い活動を提供するとともに、医療的ケアが必要な利用者の更なる受入についても検討を進められたい。
-----	--

(2) 短期入所

(「—」は評価項目なし)

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	21
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	16
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	16
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	16
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	—	—
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	16
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	16
合計		300	191
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		64点	

所 見	【評価できる点について】 ○緊急的な利用にも積極的に対応し、区内の短期入所に対するニーズに応えている。 ○安定して利用者を受け入れられるよう、近年対応の必要性が高まっている強度行動障害を含め、職員に専門研修の受講機会を提供している。 【更なる向上を求める点について】 ○令和6年度から同じ法人で運営管理を開始したグループホームとの一体的な職員配置となった。利用者への緊急対応や職員のシフト変更に対応できるようになったが、一方で申し送りや引継ぎ等が確実に行われるよう、適切な情報共有体制の確立を図られたい。
-----	---

(3) 特定相談支援

(「―」は評価項目なし)

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	17
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	21
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	16
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	16
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	16
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	—	—
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	16
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	16
合計		300	193
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		64点	

所 見	【評価できる点について】 ○例年に引き続き、令和6年度も困難事例等の積極的な受入がされている。新規相談 50 件超のうち 8 割近くが精神障害に関するものであり、相談員も精神障害分野の経験者を配置するなど、区内のニーズ・不足する分野に適切に対応している。 【更なる向上を求める点について】 ○引き続き、区立施設として積極的な新規ケース受入や困難事例への対応に期待する。一方で、職員が安心して業務を行えるよう、所内でのサポート体制や職員の育成・配置についても、区と連携しながら整えていただきたい。
-----	---

(4) 地域活動支援センター（機能訓練、デイサービス、入浴）

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	18
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	17
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	21
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	16
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	16
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	18
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	20
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	16
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	16
合計		325	218
総合（評価委員会）評価点（100 点満点換算）		67 点	

所 見	【評価できる点について】 ○令和 5 年度末で施設入浴サービスの委託事業者が撤退し、他の事業者も見つからない状況となったが、指定管理者において人員を配置し、安全に事業を実施している。利用者アンケートでも「大変満足」と「満足」の合計が 90%を超えている。 ○過去の利用者の知り合い等からボランティアの数を増やし、人数が必要な麻雀レク等を開始して好評を得ている。 【更なる向上を求める点について】 ○施設入浴サービスの送迎について、令和 6 年度末で委託事業者が撤退した。令和 7 年度からの新しい事業者と連携し、安全な送迎を継続してほしい。 ○デイサービス・機能訓練について、空きのある曜日・時間帯については、引き続き曜日コース跨ぎ等を活用して利用率の向上に努められたい。
-----	--

(5) 身体障害者福祉センターB型（配食・その他）

（「―」は評価項目なし）

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	17
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	16
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	16
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	—	—
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	16
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	—	—
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	16
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	16
合計		275	172
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		63点	

所 見	【評価できる点について】 ○配食サービスでは、在宅で異変のあった利用者の早期発見につながる等、安否確認の面においても事業者と連携して一定の効果が得られている。 ○指定管理者の独自事業として実施している区内障害福祉施設見学バスツアーは、障害児やその保護者にとって、卒業後どんな活動をする場所があるのか実際に見ることができる貴重な機会となった。参加者からも非常に好評である。 【更なる向上を求める点について】 ○配食サービスについて、通常食に加えて、塩分量やたんぱく質量等に注意が必要な利用者向けの調整食の提供開始を検討した。令和7年度は、その効果や新たな課題把握等に努められたい。 ○好評を得ている区内障害福祉施設見学バスツアーについては、ぜひ継続してほしい。また、地域に向けた新たな活動についても検討を期待する。
-----	--

目黒区心身障害者センター事業報告書（概要）

1 施設の概要

施設名	目黒区心身障害者センター
所在地	目黒区八雲一丁目1番8号
施設	障害福祉サービス等を行う施設
事業内容 (条例上の規定)	生活介護、短期入所、相談支援、創作的活動の機会の提供及び社会との交流の促進等、食事サービス、入浴サービス、ボランティアの育成・心身障害者についての啓発、心身障害者に関する活動を行う団体の交流の場の提供、福祉機器の展示・情報提供、施設の利用等

2 指定管理者の概要

団体名	社会福祉法人目黒区社会福祉事業団
所在地	目黒区上目黒二丁目19番15号
代表者	理事長 鈴木 勝
指定期間	平成31年4月1日から令和11年3月31日まで（10年間）
受任業務	ア 目黒区心身障害者センター条例第3条に規定する事業に関する業務 イ 会議室等の利用の承認、不承認、制限その他の利用に関する業務 ウ 施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 エ 施設の設定備等の保全及び修繕に関する業務

3 管理業務の実施状況（事業・行事等の実施状況、施設の利用状況、施設管理の状況など）

（1）施設利用の状況（利用者数は各年度4月1日時点）

項目	4年度	5年度	6年度
生活介護 利用者数（定員21人）	14人	13人	13人
通所率	91.9%	89.3%	92.2%
短期入所（定員2人）	延利用日数687日	延利用日数781日	延利用日数789日
基本相談	1,280件	914件	581件
計画相談	3,449件	4,296件	6,264件
障害者活動訓練事業	延3,753人	延4,229人	延3,894人
入浴サービス	延2,360人	延2,530人	延2,703人

（2）事業の実施状況

項目		4年度	5年度	6年度
あいアイ講座 「ことばの集い」	回数	49回	45回	48回
	参加者数	延333人	延272人	延285人
失語症会話パートナ ー養成講座	回数	実技講座・実習 計22回	基礎/実技講座・実習 計20回	基礎/実技講座・実習 計27回
	参加者数	9人	12人	14人
会議室等利用状況		465件（30.6%）	449件（31.8%）	451件（32.5%）

4 管理経費収支状況（指定管理者の収支決算の状況）

（単位：円）

項 目	6 年度	備考
収入額①	405,554,181	委託料・給付費・自己負担金
支出額②	383,076,547	人件費・事業費・事務費
差引（①－②）	22,477,634	

以 上

このページは空白です

2 目黒区立かみよん工房指定管理者運営評価結果について

目黒区立かみよん工房指定管理者の令和6年度運営評価結果を報告する。

1 施設名

目黒区立かみよん工房（目黒区上目黒四丁目1番26号）

2 指定管理者

社会福祉法人目黒区社会福祉事業団（目黒区上目黒二丁目19番15号）

代表者 理事長 鈴木 勝

3 指定期間及び運営評価の対象期間

指定期間 平成31年4月1日から令和11年3月31日まで（10年間）

評価対象期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

4 運営評価の方法

「目黒区健康福祉部指定管理者運営評価委員会設置要綱」に基づき設置された健康福祉部指定管理者運営評価委員会（別表）において、指定管理者から提出された事業報告書、利用者アンケートの結果、指定管理者の自己評価等をあらかじめ定めた基準に基づき評価を行った。

5 事業報告書の概要

別紙「事業報告書（概要）」のとおり

6 施設運営に係る区の歳入・歳出決算額の推移

（単位：円）

項目	4年度	5年度	6年度	備考
歳出	29,585,593	30,690,000	33,348,000	指定管理料
	3,559,029	3,326,012	2,704,632	本部補助金
合計	33,144,622	34,016,012	36,052,632	

7 総合評価基準

評価結果	説明
100点～80点	十分水準を超えている
79点～70点	必要な水準を超えている
69点～60点	必要な水準に達している
59点～50点	水準に達していない
49点以下	水準をかなり下回っている

8 指定管理者の自己評価結果（100点満点換算点）

自己評価	62点：必要な水準に達している
------	-----------------

9 総合（評価委員会）評価結果（100点満点換算点）

総合評価	64点：必要な水準に達している
------	-----------------

10 評価結果内訳及び所見

就労継続支援B型

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	16
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	16
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	16
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	16
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	20
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	17
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	16
合計		325	207
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		64点	

所 見	【評価できる点について】 ○工房祭「おもてなし仕事フェス 2024」は利用者の個性・特性に合わせて令和5年度の内容をブラッシュアップし、参加者の満足度や施設への理解も高まった。 ○令和6年度は職員8名中新規採用者3名という体制となったが、年齢の近い職員やベテランの職員がそれぞれの立場で新規採用者の指導・対応に当たり、離職者を出すことなく人材の定着が行えた。 【更なる向上を求める点について】 ○課題となっている利用者の高齢化・重度化に対して、令和6年度は3つの作業部が横断的に連携することで、新たな受注作業の獲得につながった。引き続き、利用者の変化や特性に合わせて工房の体制を工夫し、利用者が意欲的に作業に取り組める環境づくりを進められたい。 ○福祉人材不足の状況が続く中、職員が働き続けられる体制の確保も重要である。区とも連携して、就労継続支援B型施設としての作業やプログラムのあり方の見直しを検討されたい。
-----	--

目黒区立かみよん工房施設事業報告書（概要）

1 施設の概要

施設名	目黒区立かみよん工房
所在地	目黒区上目黒四丁目1番26号
施設	障害福祉サービスを行う施設
事業内容 (条例上の規定)	就労継続支援

2 指定管理者の概要

団体名	社会福祉法人目黒区社会福祉事業団
所在地	目黒区上目黒二丁目19番15号
代表者	理事長 鈴木 勝
指定期間	平成31年4月1日から令和11年3月31日まで（10年間）
受任業務	ア 目黒区立福祉工房条例第3条に規定する事業に関する業務 イ 施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 ウ 施設の設備等の保全及び修繕に関する業務

3 管理業務の実施状況（事業・行事等の実施状況、施設の利用状況、施設管理の状況など）

（1）施設利用の状況（利用者数は各年度4月1日時点）

項目	4年度	5年度	6年度
利用者数（定員40人）	35人	33人	33人
通所率	85.3%	86.3%	84.2%

（2）事業の実施状況（作業工賃総額、受託状況等）

項目		4年度	5年度	6年度
作業工賃 支給状況	就労支援事業収入	14,980,221円	15,545,354円	16,042,856円
	工賃支払額	9,398,891円	9,704,302円	10,896,259円
	月平均支払額（1人）	24,224円	28,677円	33,261円
〈食品部販売先〉定期11ヶ所 〈受託作業〉企業部4社、開発部2社				

4 管理経費収支状況（指定管理者の収支決算の状況）

（単位：円）

項目	6年度	備考
収入額①	93,797,012	委託料・給付費・自己負担金
支出額②	91,531,391	人件費・事業費・事務費
差引（①－②）	2,265,621	

以上

このページは空白です

3 目黒区立大橋えのき園指定管理者運営評価結果について

目黒区立大橋えのき園指定管理者の令和6年度運営評価結果を報告する。

1 施設名

目黒区立大橋えのき園（目黒区大橋二丁目19番38号）

2 指定管理者

社会福祉法人目黒区社会福祉事業団（目黒区上目黒二丁目19番15号）

代表者 理事長 鈴木 勝

3 指定期間及び運営評価の対象期間

指定期間 平成31年4月1日から令和11年3月31日まで（10年間）

評価対象期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

4 運営評価の方法

「目黒区健康福祉部指定管理者運営評価委員会設置要綱」に基づき設置された健康福祉部指定管理者運営評価委員会（別表）において、指定管理者から提出された事業報告書、利用者アンケートの結果、指定管理者の自己評価等をあらかじめ定めた基準に基づき評価を行った。

5 事業報告書の概要

別紙「事業報告書（概要）」のとおり

6 施設運営に係る区の歳入・歳出決算額の推移

（単位：円）

項 目	4年度	5年度	6年度	備考
歳 出	70,390,537	62,906,000	74,631,000	指定管理料
	6,810,803	5,539,449	4,504,545	本部補助金
合 計	77,201,340	68,445,449	79,135,545	

7 総合評価基準

評価結果	説明
100点～80点	十分水準を超えている
79点～70点	必要な水準を超えている
69点～60点	必要な水準に達している
59点～50点	水準に達していない
49点以下	水準をかなり下回っている

8 指定管理者の自己評価結果（100点満点換算点）

（1）生活介護

自己評価	62点：必要な水準に達している
------	-----------------

（2）日中一時支援（利用時間外活動支援）

自己評価	61点：必要な水準に達している
------	-----------------

9 総合（評価委員会）評価結果（100点満点換算点）

（1）生活介護

総合評価	63点：必要な水準に達している
------	-----------------

（2）日中一時支援（利用時間外活動支援）

総合評価	63点：必要な水準に達している
------	-----------------

10 評価結果内訳及び所見

(1) 生活介護

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	16
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	16
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	16
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	16
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	18
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	16
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	16
合計		325	204
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		63点	

所 見	【評価できる点について】 ○地域イベントへの積極的な参加や、特別支援学校・学級生徒等の見学対応、ホームページによる情報発信等、新規利用者獲得のためにさまざまな工夫を凝らしている。施設の魅力が確実に伝わっていることが感じられ、将来的な利用希望者の獲得が期待される。 ○研修の機会を多く設定することで、生活支援員が不安感を抱くことなく利用者支援を行える環境を整えている。福祉人材の採用が困難な状況が続く中、職員定着の面でも有効と思われる。 ○生活介護事業所でありながら、利用者が就労的な生産活動を行えるよう、自主生産品の制作・開発に継続的に力を入れて取り組んでいる。 【更なる向上を求める点について】 ○他業界の給与水準が向上する中、福祉人材の確保はこれまで以上に困難になることが予想される。職員の採用及び定着の両方の面において、引き続き更なる工夫を凝らされたい。 ○実習生や見学者を積極的に受け入れたことが、利用者の増加につながってきている。これからも施設の魅力あるプログラムを発信し、学校卒業後の進路先の選択肢に挙がるよう努めていってほしい。
-----	--

(2) 日中一時支援（利用時間外活動支援）

（「—」は評価項目なし）

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	16
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	16
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	—	—
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	16
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	19
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	16
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	16
合計		300	189
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		63点	

所 見	【評価できる点について】 ○日中活動後の見守りが主な目的の事業ではあるが、利用者の希望に応じた活動も取り入れ、満足度の高い支援を提供している。 【更なる向上を求める点について】 ○障害者世帯（保護者）の就労支援という面での事業ニーズは、今後さらに増していくことが予想される。よりよい事業のあり方を検討するにあたり、事業実施施設として区と連携して積極的な情報提供や提案を期待する。
-----	---

目黒区立大橋えのき園施設事業報告書（概要）

1 施設の概要

施設名	目黒区立大橋えのき園
所在地	目黒区大橋二丁目19番38号
施設	障害福祉サービス等を行う施設
事業内容 (条例上の規定)	生活介護、日中一時支援（利用時間外活動支援）

2 指定管理者の概要

団体名	社会福祉法人目黒区社会福祉事業団
所在地	目黒区上目黒二丁目19番15号
代表者	理事長 鈴木 勝
指定期間	平成31年4月1日から令和11年3月31日まで（10年間）
受任業務	ア 目黒区立福祉工房条例第3条に規定する事業に関する業務 イ 施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 ウ 施設の設備等の保全及び修繕に関する業務

3 管理業務の実施状況（事業・行事等の実施状況、施設の利用状況、施設管理の状況など）

（1）施設利用の状況（利用者数は各年度4月1日時点）

項目	4年度	5年度	6年度
生活介護 利用者数（定員57人）	42人	41人	36人
通所率	79.8%	85.3%	84.1%
日中一時支援 利用者数（定員10人）	1人(7月から2人)	3人	2人
通所率	57.9%	79.9%	82.5%

（2）事業の実施状況（作業活動、課題別活動、行事等）

項目	4年度	5年度	6年度
作業活動	ピクルス・ミートソース・カレー作り、紙漉き、ガラス工芸、美術、書道、音楽・身体表現等		
課題別活動	散歩、バスハイク、体験（コンビニで買物体験）、カルチャー（園芸等）、室内運動、作業療法士によるレクリエーション		
行事等	13回	17回	18回

4 管理経費収支状況（指定管理者の収支決算の状況）

（単位：円）

項目	6年度	備考
収入額①	173,612,940	委託料・給付費・自己負担金
支出額②	165,866,289	人件費・事業費・事務費
差引（①－②）	7,746,651	

以上

4 目黒区立下目黒福祉工房指定管理者運営評価結果について

目黒区立下目黒福祉工房指定管理者の令和6年度運営評価結果を報告する。

1 施設名

目黒区立下目黒福祉工房（目黒区下目黒三丁目10番2号）

2 指定管理者

社会福祉法人目黒区社会福祉事業団（目黒区上目黒二丁目19番15号）

代表者 理事長 鈴木 勝

3 指定期間及び運営評価の対象期間

指定期間 令和5年4月1日から令和15年3月31日まで（10年間）

評価対象期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

4 運営評価の方法

「目黒区健康福祉部指定管理者運営評価委員会設置要綱」に基づき設置された健康福祉部指定管理者運営評価委員会（別表）において、指定管理者から提出された事業報告書、福祉サービス第三者評価の結果、指定管理者の自己評価等をあらかじめ定めた基準に基づき評価を行った。

5 事業報告書の概要

別紙「事業報告書（概要）」のとおり

6 施設運営に係る区の歳入・歳出決算額の推移

（単位：円）

項 目	4 年度	5 年度	6 年度	備考
歳 出	72,678,017	93,837,500	88,586,000	指定管理料
	5,504,972	5,258,378	4,275,985	本部補助金
合 計	78,182,989	99,095,878	92,861,985	

7 総合評価基準

評価結果	説明
100点～80点	十分水準を超えている
79点～70点	必要な水準を超えている
69点～60点	必要な水準に達している
59点～50点	水準に達していない
49点以下	水準をかなり下回っている

8 指定管理者の自己評価結果（100点満点換算点）

（1）就労継続支援B型

自己評価	62点：必要な水準に達している
------	-----------------

（2）日中一時支援（利用時間外活動支援）

自己評価	61点：必要な水準に達している
------	-----------------

9 総合（評価委員会）評価結果（100点満点換算点）

（1）就労継続支援B型

総合評価	65点：必要な水準に達している
------	-----------------

（2）日中一時支援（利用時間外活動支援）

総合評価	63点：必要な水準に達している
------	-----------------

10 評価結果内訳及び所見

(1) 就労継続支援B型

評価項目		配点	総合評価
Ⅰ経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	16
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	18
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱサービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	16
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	16
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	16
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	16
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	20
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	16
Ⅲ管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	16
合計		325	210
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		65点	

所見	【評価できる点について】 ○利用者の高齢化による生産低下が顕著であった革班について、令和5年度から革・ステッチ班として活動の見直しや商品のブランド化（RE*BORN）に取り組んできたが、令和6年度はギャラリーを使用して展示販売を行い、より多くの方に商品の魅力を発信した。 ○菓子班においては、シフォンケーキが好調な中にあってもより販売期間が長い製品を開発し、ロス削減に取り組んでいる。 ○就労継続支援事業として、利用者家族の工賃に関する疑問に対して懇談会において説明を行った。平均工賃月額も毎年度向上している。 【更なる向上を求める点について】 ○革・ステッチ班においては、利用者の個性を活かしたオリジナル商品が高い評価を得る一方、販売を継続していくことに課題がある。菓子班においても、生産量に限りがある中で売上を更に伸ばしていくことが難しくなっている。令和6年度に日保ちする焼菓子を開発したように、各班の課題についてどう対応していくか、検討を重ねられたい。
----	---

(2) 日中一時支援（利用時間外活動支援）

（「—」は評価項目なし）

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	16
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	16
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	—	—
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	18
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	16
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	16
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	16
合計		300	188
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		63点	

所 見	【評価できる点について】 ○他の生活介護施設を利用しているため支援に関してより配慮が必要な利用者について、施設間で視察等を行うことで対応方針を統一している。工房内においても職員間で情報共有を適切に行い、シフト対応であっても安定した支援がなされている。 【更なる向上を求める点について】 ○日中の通所事業が生活介護の利用者と就労継続支援B型の利用者と混在している。今後利用者が増えた場合でも、特性の異なる利用者がそれぞれ落ち着いて過ごせるよう部屋の使い方等についての検討を行ってほしい。
-----	--

目黒区立下目黒福祉工房施設事業報告書（概要）

別紙

1 施設の概要

施設名	目黒区立下目黒福祉工房
所在地	目黒区下目黒三丁目10番2号
施設	障害福祉サービス等を行う施設
事業内容 (条例上の規定)	就労継続支援、日中一時支援（利用時間外活動支援）（令和5年度から実施）

2 指定管理者の概要

団体名	社会福祉法人目黒区社会福祉事業団
所在地	目黒区上目黒二丁目19番15号
代表者	理事長 鈴木 勝
指定期間	令和5年4月1日から令和15年3月31日まで（10年間）
受任業務	ア 目黒区立福祉工房条例第3条に規定する事業に関する業務 イ 管理物件の日常の維持管理に関する業務 ウ 管理施設の設備等の保全及び修繕に関する業務

3 管理業務の実施状況（事業・行事等の実施状況、施設の利用状況、施設管理の状況など）

（1）施設利用の状況（利用者数は各年度4月1日時点）

項目	4年度	5年度	6年度
就労継続支援B型 利用者数（定員40人）	36人	37人	38人
通所率	90.8%	93.8%	92.0%
日中一時支援 利用者数（定員10人）		3人	4人
通所率		88.6%	83.3%

（2）事業の実施状況（作業工賃総額、受託状況等）

項目	4年度	5年度	6年度
作業工賃 支給状況	就労支援事業収入	6,694,874円	6,993,626円
	工賃支払額	4,437,928円	4,800,780円
	月平均支払額（1人）	10,297円	11,698円
		12,253円	

4 管理経費収支状況（指定管理者の収支決算の状況）

（単位：円）

項目	6年度	備考
収入額①	161,951,692	委託料・給付費・自己負担金
支出額②	161,791,503	人件費・事業費・事務費
差引（①－②）	160,189	

以上

5 目黒区東が丘障害福祉施設指定管理者運営評価結果について

目黒区東が丘障害福祉施設指定管理者の令和6年度運営評価結果を報告する。

1 施設名

目黒区東が丘障害福祉施設（目黒区東が丘一丁目21番15号）

2 指定管理者

社会福祉法人東京援護協会（台東区東上野三丁目18番11号）

代表者 理事長 中村 明彦

3 指定期間及び運営評価の対象期間

指定期間 令和4年4月1日から令和14年3月31日まで（10年間）

評価対象期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

4 運営評価の方法

「目黒区健康福祉部指定管理者運営評価委員会設置要綱」に基づき設置された健康福祉部指定管理者運営評価委員会（別表）において、指定管理者から提出された事業報告書、福祉サービス第三者評価の結果、利用者アンケートの結果、指定管理者の自己評価等をあらかじめ定めた基準に基づき評価を行った。

5 事業報告書の概要

別紙「事業報告書（概要）」のとおり

6 施設運営に係る区の歳入・歳出決算額の推移

（単位：円）

項目	4年度	5年度	6年度	備考
歳入	124,427,162	130,982,469	130,634,103	
歳出	230,022,271	237,045,037	236,772,675	指定管理料 処遇改善加算金

7 総合評価基準

評価結果	説明
100点～80点	十分水準を超えている
79点～70点	必要な水準を超えている
69点～60点	必要な水準に達している
59点～50点	水準に達していない
49点以下	水準をかなり下回っている

8 指定管理者の自己評価結果（100点満点換算点）

（1）生活介護

自己評価	65点：必要な水準に達している
------	-----------------

（2）福祉ホーム

自己評価	61点：必要な水準に達している
------	-----------------

（3）短期入所

自己評価	61点：必要な水準に達している
------	-----------------

9 総合（評価委員会）評価結果（100点満点換算点）

（1）生活介護

総合評価	64点：必要な水準に達している
------	-----------------

（2）福祉ホーム

総合評価	62点：必要な水準に達している
------	-----------------

(3) 短期入所

総合評価	63点 : 必要な水準に達している
------	-------------------

10 評価結果内訳及び所見

(1) 生活介護

評価項目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	16
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	16
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	16
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	17
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	20
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	18
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	16
合計		325	209
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		64点	

所見	【評価できる点について】 ○熱中症防止のため夏季は外出が少なくなり運動量が低下すると家族からの要望に対し、住区センターのホールを夏季に週2回程度使用して運動機会を確保した。利用者の健康維持に努めている。 ○外部関係機関職員を講師に招いた研修実施や、自主生産品販売会及び販売後の打合せへの積極的な参加、小学校での介護教室の実施等を通じて、支援力強化や地域における認知度の向上、作業売上向上につながられている。 ○利用者のグループ分けを見直し、新たに「高齢利用者と医ケア利用者」「自閉症利用者の少人数グループ」を作り、これまで支援が届きにくかった利用者にも支援の手が回るように工夫したことで、安定した施設運営につながられている。 【更なる向上を求める点について】 ○職員の欠員については、法人及び施設として継続して採用活動に努め、利用者支援のみならず他の職員の健康管理の観点からも配置基準の充足に向けて取り組んでいただきたい。
----	---

	○生活介護事業所においても、生産・作業活動の充実への期待が大きくなってきている。引き続き作業収入の向上に取り組むとともに、プール活動再開の検討等、利用者や家族の要望に応じたプログラムの更なる充実にも努められたい。
--	--

(2) 福祉ホーム

(「―」は評価項目なし)

評価項目		配点	総合評価
Ⅰ経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱサービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	16
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	16
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	16
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	16
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	—	—
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	16
Ⅲ管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	16
合計		300	186
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		62点	

所見	【評価できる点について】 ○交代制・シフト勤務のためマンツーマン指導が行いづらく職員の育成が難しい状況の中、見るだけで新任職員でも業務がわかるようにマニュアルを使いやすく整理し、フォロー体制も構築して職員定着を図っている。 【更なる向上を求める点について】 ○令和5年度から職員1名の欠員が継続している。福祉人材の確保が困難な状況が続くが、引き続き配置基準の充足に努めるとともに、現在の職員についても定着・育成に向けた取組を継続していただきたい。 ○入浴・シャワー浴について、利用者構成の変化により従来どおり実施できない状況となっているが、利用者や家族からの要望は継続して強くあるため、空き時間の活用等実施可能な方法を検討し、利用者満足度を高める取組に努めていただきたい。
----	---

(3) 短期入所

(「―」は評価項目なし)

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	16
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	16
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	18
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	16
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	—	—
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	16
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	16
合計		300	188
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		63点	

所 見	【評価できる点について】 ○職員の研修受講や事業所内の情報共有が行われるとともに、書類を扱う手順を見直すことで業務の効率化が図られ、支援の質の向上につながっている。 ○新規利用者については、家族からの聞き取りに加えて日中の活動場所（特別支援学校、通所施設）にも事前に訪問し、アセスメントを行うことでより適切な支援を行うよう努めている。 【更なる向上を求める点について】 ○職員体制により利用者の受入ができないケースが複数回発生していた。利用率の向上に向けて、継続している欠員補充の解消を含めた体制整備を行うとともに、区の利用窓口となっている所管との情報共有手段についても検討を進められたい。
-----	--

目黒区東が丘障害福祉施設事業報告書（概要）

1 施設の概要

施設名	目黒区東が丘障害福祉施設
所在地	目黒区東が丘一丁目2番15号
施設	障害福祉サービス等を行う事業所
事業内容 (条例上の規定)	生活介護、福祉ホーム事業、短期入所

2 指定管理者の概要

団体名	社会福祉法人東京援護協会
所在地	東京都台東区東上野三丁目18番11号
代表者	理事長 中村 明彦
指定期間	令和4年4月1日から令和14年3月31日まで（10年間）
受任業務 (条例上の規定)	ア 目黒区東が丘障害福祉施設条例第2条に規定する事業に関する業務 イ 施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 ウ 施設の設備等の保全及び修繕に関する業務

3 管理業務の実施状況（事業・行事等の実施状況、施設の利用状況、施設管理の状況など）

（1）施設利用の状況（利用者数は各年度4月1日時点）

項目	4年度	5年度	6年度
生活介護 利用者数(定員40人)	38人	36人	36人
通所率	89.1%	92.4%	93.4%
福祉ホーム 利用者数(定員7人)	4人	6人	7人
短期入所(定員2人)	延利用日数469日	延利用日数418日	延利用日数398日

（2）事業の実施状況

生活介護	創作活動、作業活動、クラブ活動、外出活動、給食提供、送迎サービス等
福祉ホーム	身体介護（食事・排泄・入浴・更衣・移動等）、相談業務、金銭管理等
短期入所	身体介護（食事・排泄・入浴・更衣・移動等）、金銭管理等

4 管理経費収支状況（指定管理者の収支決算の状況）

（単位：円）

項目	6年度	備考
収入額①	236,772,675	委託料・処遇改善加算金
支出額②	230,015,730	人件費・事業費・事務費
差引（①－②）	6,756,945	

以上

このページは空白です

6 目黒区立目黒本町福祉工房指定管理者運営評価結果について

目黒区立目黒本町福祉工房指定管理者の令和6年度運営評価結果を報告する。

1 施設名

目黒区立目黒本町福祉工房（目黒区目黒本町一丁目14番24号）

2 指定管理者

社会福祉法人いたるセンター（杉並区天沼一丁目15番18号）

代表者 理事長 谷山 勝崇

3 指定期間及び運営評価の対象期間

指定期間 平成29年4月1日から令和9年3月31日まで（10年間）

評価対象期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

4 運営評価の方法

「目黒区健康福祉部指定管理者運営評価委員会設置要綱」に基づき設置された健康福祉部指定管理者運営評価委員会（別表）において、指定管理者から提出された事業報告書、福祉サービス第三者評価の結果、利用者アンケート結果、指定管理者の自己評価等をあらかじめ定めた基準に基づき評価を行った。

5 事業報告書の概要

別紙「事業報告書（概要）」のとおり

6 施設運営に係る区の歳入・歳出決算額の推移

（単位：円）

項目	4年度	5年度	6年度	備考
歳入	174,686,439	179,976,014	183,110,112	
歳出	289,294,133	287,272,707	292,765,511	指定管理料 処遇改善加算金

7 総合評価基準

評価結果	説明
100点～80点	十分水準を超えている
79点～70点	必要な水準を超えている
69点～60点	必要な水準に達している
59点～50点	水準に達していない
49点以下	水準をかなり下回っている

8 指定管理者の自己評価結果（100点満点換算点）

（1）生活介護

自己評価	64点：必要な水準に達している
------	-----------------

（2）就労継続支援B型

自己評価	63点：必要な水準に達している
------	-----------------

（3）日中一時支援（利用時間外活動支援）

自己評価	62点：必要な水準に達している
------	-----------------

（4）福祉の店さんまるしえ

自己評価	66点：必要な水準に達している
------	-----------------

9 総合（評価委員会）評価結果（100点満点換算点）

（１）生活介護

総合評価	63点：必要な水準に達している
------	-----------------

（２）就労継続支援B型

総合評価	64点：必要な水準に達している
------	-----------------

（３）日中一時支援（利用時間外活動支援）

総合評価	63点：必要な水準に達している
------	-----------------

（４）福祉の店さんまるしえ

総合評価	68点：必要な水準に達している
------	-----------------

10 評価結果内訳及び所見

（１）生活介護

評価項目		配点	総合評価
Ⅰ経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱサービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	16
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	16
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	16
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	16
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	20
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	16
Ⅲ管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	16
合計		325	206
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		63点	

所見	【評価できる点について】 ○自主生産品について、利用者全員が作業可能でかつ興味を持ったものを取り入れてバスソルトを開発した。また、実際に販売している店舗まで足を運び聞き取り調査を行ってパッケージを工夫する等、売上促進についても取組を行っている。 ○職業体験やボランティア等の受入を積極的に行い、またこれまで施設職員の負担の面から行えていなかった施設行事やイベントでの受入も開始した。参加者に
----	--

	とって、これまで以上に障害への理解が深まる体験になったと思われる。コロナ禍以降中止していた宿泊行事も再開し、利用者から好評を得られたことも評価できる。 ○研修受講の仕組みが組織的に整備されている。研修内容も見直されており、経験の浅い職員だけでなくベテランの職員にとっても再講習することで新たな知識の習得につながる機会となっている。 【更なる向上を求める点について】 ○バスソルト製作のような利用者特性に合わせた作業や宿泊体験等、利用者の満足度が高まる活動について引き続き実施・再開を検討し、幅広い活動を提供してほしい。 ○福祉人材不足が続く中、職員の定着を図ることが重要である。研修制度のほか、メンタル面を含めた職員の健康管理についても組織的なフォローをこれまで以上に行ってほしい。
--	---

(2) 就労継続支援B型

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	16
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	16
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	16
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	16
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	21
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	16
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	16
合計		325	207
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		64点	

所 見	【評価できる点について】 ○利用者により作業への意欲が異なることから、半年間のシミュレーションを経て工賃の時給制を導入した。積極的に作業に取り組みたい利用者にとってはこれまで以上にやりがいを感じられるように改善され、全体的な作業意欲向上にもつながっている。 ○新製品を開発したほか、宿泊体験についてはコロナ禍で中止が続いたため経験のない職員が多い中にあっても無事に実施し、利用者満足度の向上に寄与した。 【更なる向上を求める点について】 ○工賃について令和6年度から時給制を導入したところだが、半分程度の利用者や家族が内容を知らない状況である。工賃や作業への考え方は利用者や家族によりさまざまではあるが、より多くの利用者や家族が工賃について理解できるよう、引き続き説明等を行っていただきたい。
-----	---

(3) 日中一時支援（利用時間外活動支援）

（「—」は評価項目なし）

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	16
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	16
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	—	—
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	16
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	20
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	16
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	16
合計		300	190
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		63点	

所 見	【評価できる点について】 ○従事する職員を固定化することで支援体制が安定し、利用者一人ひとりが落ち着いて過ごせるだけでなく、利用者や家族の要望に応じた集団活動も実施できている。 ○活動状況を写真も交えて利用者家族に共有することで透明性を確保し、利用者家族の信頼を得られている。 【更なる向上を求める点について】 ○区や関係事業所との連携を強化し、今後の事業のあり方について見通しを持ってよりよい事業運営に努めていただきたい。
-----	---

(4) 福祉の店さんまるしえ

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営に必要な人員体制が取られているか	25	15
	2 人材の育成、資質の向上に取り組んでいるか	25	15
	3 危機管理・安全対策は適切に行われているか	25	15
	4 情報管理の取り組みは適切に行われているか	25	15
	5 地域との連携は適切に行われているか	25	20
	6 施設設備の管理保全や環境保護の取り組みは適切に行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 設置目的達成に向けて取り組んでいるか	25	16
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	16
	9 施設との連携は適切に行われているか	25	16
	10 来店者の満足度向上へ向けた取り組みを行っているか	25	16
	11 店舗・事業の周知は適切に行われているか	25	21
	12 利用者工賃向上に向けた取り組みを行っているか	25	21
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	16
	14 喫茶の収入は効果的に活用されているか	25	20
合計		350	237
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		68点	

所 見	【評価できる点について】 ○施設と連携して顧客意見を反映した新商品を開発する等、区内施設の工賃向上に積極的に取り組んでいる。 ○顧客満足度の向上を目指して店内環境の整備に重点的に取り組んだ結果、予算を上回る好調な売上を達成した。 【更なる向上を求める点について】 ○多くの来店者と関わる福祉の店という立場から、今後も顧客意見を積極的に収集し、各施設がより魅力的な商品を開発できるよう提案や助言を行ってほしい。 ○喫茶部門においても、来店者の満足度がより高まるよう、提供するメニューの質の向上や作業効率の改善に継続して取り組んでいただきたい。
-----	--

目黒区立目黒本町福祉工房事業報告書（概要）

1 施設の概要

施設名	目黒区立目黒本町福祉工房
所在地	目黒区目黒本町一丁目14番24号
施設	障害福祉サービス等を行う事業所
事業内容 (条例上の規定)	生活介護、就労継続支援、日中一時支援（利用時間外活動支援）

2 指定管理者の概要

団体名	社会福祉法人 いたるセンター
所在地	杉並区天沼一丁目15番18号
代表者	理事長 谷山 勝崇
指定期間	平成29年4月1日から令和9年3月31日まで（10年間）
受任業務	ア 目黒区立福祉工房条例第3条に規定する事業に関する業務 イ 施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 ウ 施設の設備等の保全及び修繕に関する業務 エ その他区立施設として必要な業務（会議、研修、調査等） オ 福祉の店の運営（区内障害福祉施設の自主生産品の販売等）

3 管理業務の実施状況（事業・行事等の実施状況、施設の利用状況、施設管理の状況など）

（1）施設利用の状況（利用者数は各年度4月1日時点）

項目		4年度	5年度	6年度
生活介護 利用者数（定員30人）		30人	29人	30人
通所率		87.6%	90.7%	91.1%
就労継続支援B型 利用者数 定員50人（本体40人、分室10人）		47人 （うち分室7人）	44人 （うち分室6人）	44人 （うち分室6人）
通所率		91.3%	92.8%	90.4%
日中一時支援 利用者数（定員10人）		9人	8人	9人
通所率		85.3%	90.4%	83.9%
福祉の店 さんまるしえ	月平均購買客数	1,621人	1,727人	1,840人
	売上	13,673,510円	15,595,945円	17,030,730円

（2）事業の実施状況

項目		4年度	5年度	6年度
生活介護	活動内容	創作活動、作業活動、クラブ活動、外出活動、給食提供、送迎サービス等		
就労継続支援B型 作業工賃支給状況	就労支援事業収入	8,959,947円	10,407,359円	11,990,457円
	工賃支払額	6,103,210円	6,529,051円	7,806,949円
	月平均支払額(1人)	11,387円	13,774円	16,346円
福祉の店 さんまるしえ	自主製品の 販売等	区内15施設の製品販売（パン、焼き菓子、弁当、雑貨等）、喫茶		

4 管理経費収支状況（指定管理者の収支決算の状況）

（単位：円）

項 目	6 年度	備考
収入額①	293,356,717	委託料・処遇改善加算金
支出額②	269,616,738	人件費・事業費・事務費
差引（①－②）	23,739,979	

以 上

7 目黒区立のぞみ寮指定管理者運営評価結果について

目黒区立のぞみ寮指定管理者の令和6年度運営評価結果を報告する。

1 施設名

目黒区立のぞみ寮（目黒区目黒三丁目4番4号）

2 指定管理者

社会福祉法人目黒区社会福祉事業団（目黒区上目黒二丁目19番15号）

代表者 理事長 鈴木 勝

3 指定期間及び運営評価の対象期間

指定期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで（5年間）

評価対象期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

4 運営評価の方法

「目黒区健康福祉部指定管理者運営評価委員会設置要綱」に基づき設置された健康福祉部指定管理者運営評価委員会（別表）において、指定管理者から提出された事業報告書、利用者アンケート結果、指定管理者の自己評価等をあらかじめ定めた基準に基づき評価を行った。

5 事業報告書の概要

別紙「事業報告書（概要）」のとおり

6 施設運営に係る区の歳入・歳出決算額の推移

（単位：円）

項目	4年度	5年度	6年度	備考
歳入	17,220,013	17,154,203	16,749,707	
歳出	23,067,690	23,211,775	35,355,767	指定管理料 処遇改善加算金
			895,195	本部補助金

7 総合評価基準

評価結果	説明
100点～80点	十分水準を超えている
79点～70点	必要な水準を超えている
69点～60点	必要な水準に達している
59点～50点	水準に達していない
49点以下	水準をかなり下回っている

8 指定管理者の自己評価結果（100点満点換算点）

（1）共同生活援助（グループホーム）

自己評価	64点：必要な水準に達している
------	-----------------

（2）短期入所

自己評価	62点：必要な水準に達している
------	-----------------

9 総合（評価委員会）評価結果（100点満点換算点）

（1）共同生活援助（グループホーム）

総合評価	64点：必要な水準に達している
------	-----------------

（2）短期入所

総合評価	62点：必要な水準に達している
------	-----------------

10 評価結果内訳及び所見

(1) 共同生活援助（グループホーム）

（「—」は評価項目なし）

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	16
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	16
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	16
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	16
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	17
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	—	—
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	16
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	19
合計		300	191
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		64点	

所 見	【評価できる点について】 ○指定管理者1年目として職員配置に重点を置き、経験豊富な職員を多く配置した。配置数自体も区の基準を上回っており、緊急時の対応等も十分になされている。 ○利用者の要望を取り入れて1日外出行事の再開や食事メニューの充実に取り組み、利用者の満足度向上につながっている。 ○利用者負担金の徴収について、丁寧な説明により利用者の理解を得て全ての利用者に口座振替を導入した。利用者とは指定管理者双方にとって会計の効率化がなされた。 【更なる向上を求める点について】 ○引き続き利用者の要望を取り入れた活動を検討するとともに、グループホームとして地域交流・地域連携にも取り組んでいただきたい。 ○グループホームの運営の透明性確保については、令和6年度報酬改定においても重視されている。法人ホームページへの情報掲載やパンフレット作成を行い、事業所について周知していただきたい。
-----	--

(2) 短期入所

(「—」は評価項目なし)

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	16
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	17
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	12
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	16
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	16
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	16
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	—	—
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	16
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	16
合計		300	185
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		62点	

所 見	【評価できる点について】 ○併設のグループホームや同じ法人の短期入所と職員体制を一体化し、手厚い職員配置が行えている。利用者の特性に合わせて食形態を調整する等、柔軟な利用者支援を提供している。 ○利用者負担金の徴収について口座振替を導入し、利用者と指定管理者双方にとって会計の効率化がなされた。 【更なる向上を求める点について】 ○区や相談支援事業所に働きかけを行ったものの、利用率が伸び悩んだ。グループホームとあわせて法人ホームページやパンフレット等により事業所の情報を広く周知し、利用率向上に取り組んでいただきたい。
-----	---

目黒区立のぞみ寮施設事業報告書（概要）

1 施設の概要

施設名	目黒区立のぞみ寮
所在地	目黒区目黒三丁目4番4号
施設	障害福祉サービスを行う施設
事業内容 (条例上の規定)	共同生活援助（グループホーム）、短期入所

2 指定管理者の概要

団体名	社会福祉法人目黒区社会福祉事業団
所在地	目黒区上目黒二丁目19番15号
代表者	理事長 鈴木 勝
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで（5年間）
受任業務	ア 目黒区立知的障害者グループホーム条例第3条に規定する事業に関する業務 イ 管理物件の日常の維持管理に関する業務 ウ 管理施設の設備等の保全及び修繕に関する業務

3 管理業務の実施状況（施設の利用状況、事業・行事等の実施状況、施設管理の状況など）

（1）施設利用の状況（利用者数は各年度4月1日時点）

項目	4年度	5年度	6年度
共同生活援助 利用者数（定員6人）	6人	6人	5人
短期入所（定員1人）	延利用日数44日	延利用日数116日	延利用日数44日

（2）事業の実施状況

項目	4年度	5年度	6年度
行事	0回	0回	4回

4 管理経費収支状況（指定管理者の収支決算の状況）

（単位：円）

項目	6年度	備考
収入額①	37,103,566	委託料・処遇改善加算金
支出額②	34,349,157	人件費・事業費・事務費
差引（①－②）	2,754,409	

以上

(別表)

健康福祉部指定管理者運営評価委員会

職	氏 名	備 考
委員長	岩崎 香	有識者
副委員長	保坂 春樹	健康福祉部長
委 員	長友 祐三	有識者
委 員	仁科 健治	有識者
委 員	関田 まいこ	健康福祉計画課長
委 員	橋川 久美子	福祉総合課長

以 上